

索道安全報告【2008年度版】

(2008.4.1～2009.3.31)

■ご利用の皆様へ

当社の索道事業に対しまして、日頃のご利用とご理解をいただき、誠にありがとうございます。
当社は経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守と共に安全輸送に努めております。
当報告は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について自ら振り返ると共に、広くご理解をいただくために公表するものです。

加森観光株式会社
代表取締役 加森 公人

ロープウェイ・ゴンドラ・リフトの安全に対する取り組みについて

● 輸送の安全を確保するための基本方針

- 1 社長及び役員は、安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、索道施設及び職員を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針その他事業活動に関する基本的な方針を具体的に定めています。
- 2 職員等の安全に関わる行動範囲（安全の基本理念、安全方針）は、次の通りとしました。
 - (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
 - (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を正しく理解すると共にこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
 - (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
 - (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
 - (5) 事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
 - (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
 - (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に取り組むこと。

● 輸送の安全を確保するための安全重点施策と結果

◎索道事故・トラブル発生ゼロ

- 1 始業点検、定期検査の確実な実施。
- 2 常に施設の異常に対する変化、お客様の動静に注意。
- 3 自社、他社のトラブル情報の共有化。

◎結果報告

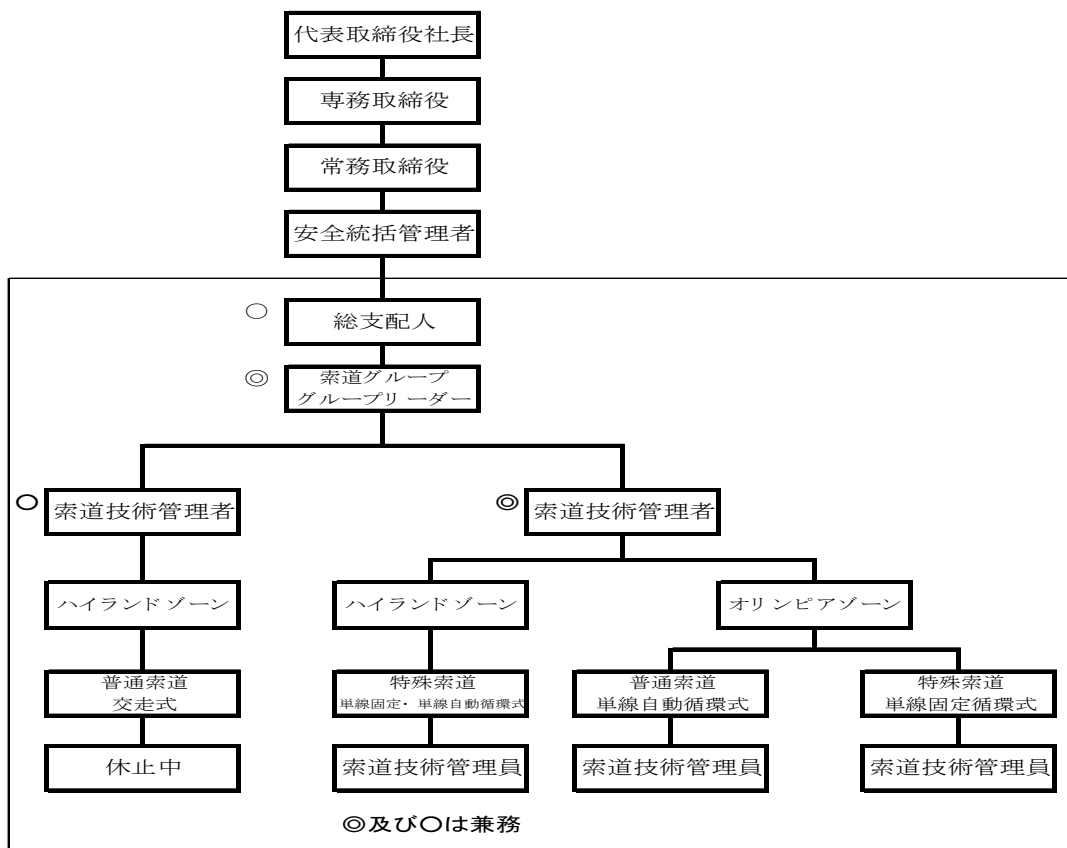
各点検・検査を確実にを行い、点検・検査及びお客様の乗降時の監視業務にヒヤリ・ハット運動を継続する事により、小さな危険に対する係員の意識がより高まりました。

又、特定行政庁等からのトラブル情報はもとより、自社・他社のトラブル情報を日々の安全目標に反映させる事により、索道事故・トラブルの発生をゼロで継続する事が出来ました。

● 安全確保に関する体制図

サッポロテイネの索道事業における安全確保に関する体制と各責任者の役割及び権限は、下図に掲げるとおりとしました。

安全確保に関する体制図



輸送の安全の確保に関する管理方法

● 輸送の安全を確保するための取り組み

1 緊急時対応訓練

サッポロテイネでは毎年、夏・冬シーズン開始前に万一の事故や災害（索道が運転不能となった場合）を想定した救助訓練や、予備原動機の操作訓練、従業員の社内研修を実施し、特に救助関係では手稲消防署と協力した取り組みを行うなど万全の体制を整えています。



消防署との連携救助訓練の様様（2008. 11. 27）



自社救助訓練の様様（2008. 11. 15）

2 人材教育

- (1) 2008年4月25日 …夏営業に向けた従業員教育を実施しました。
- (2) 2008年7月5～6日 …索道技術管理者基礎講習を受講しました。
- (3) 2008年11月15～16日 …スキー場オープンに向けて従業員教育を実施しました。

3 輸送の安全・安心を提供する取り組みについて

- (1) 老朽化した北壁リフトを4人乗り高速リフトに架け替えました。
 - ・パラダイス1号リフト ～握索機を全数オーバーホール。
 - ・パノラマ1号リフト ～油圧緊張シリンダーのオーバーホール・常用制動機のオーバーホール
 場内押送Vベルトの全数交換等を実施しました。
 その他、検査標準に基づく部品交換及び定期的な給油を実施しました。
- (2) お客様の動静に注意し、乗り場・降り場での減速や声掛けサポートを致しました。
- (3) 施設の異常に対する変化を、天気等気象の変化に置き換え、朝礼等にて注意喚起致しました。
- (4) 運輸局、索道協会、及び加森観光グループからのヒヤリ・ハット、保安情報を常に回覧し、安全意識の向上に努めました。
- (5) 加森観光グループ内にて索道担当者会議を年に2回行い、索道施設の安全のための情報交換・共有化に努め、内部監査による施設維持に努めました。
 - ・2008年6月11日（安比高原スキー場）
 - ・2008年10月20日（ルスツリゾートスキー場）

● 検査について

法令遵守に基づく、始業点検、定期点検を確実に実施し、安全を確認してから営業運転に入りました。

● 索道事故及びインシデントについて

2008年度（2008.4.1～2009.3.31）の索道事故・インシデント等の発生状況のまとめ

- | | | |
|----------------------|------|---|
| 1 索道運転事故の発生状況 | 普通索道 | ： 索道運転事故の発生はありませんでした。 |
| | 特殊索道 | ： 索道運転事故の発生はありませんでした。 |
| 2 インシデントの発生状況 | 普通索道 | ： インシデントの発生はありませんでした。 |
| | 特殊索道 | ： インシデントの発生はありませんでした。 |
| 3 災害（地震・暴風雪・豪雪）の発生状況 | 普通索道 | ： 天候不順により、やむを得ず索道の運行を一時又は終日運休と |
| | 特殊索道 | ： した日が数日ありましたが、お客様の深いご理解により、安全な営業をさせて頂きました。 |

● 御利用の皆様との連携のお願い

2008年度（2008.4.1～2009.3.31）も無事営業を終了することができました。

これもひとえに当社索道運営に対するお客様からの多大なるご支援のたまものと心より感謝申し上げます。

2009年度も更に安全管理・機械整備に努め、より一層の安全な索道環境を提供したいと考えております。

下記の『索道利用時のおねがい』にご協力をお願い致します。

- 1 乗り方・降り方に、不慣れなお客様は、係員に遠慮なくお申し付け下さい。
- 2 空き缶・タバコの吸い殻、その他物品を乗っている索道から投げ捨てないで下さい。
- 3 搬器から飛び降りたり、搬器を揺すったりしないで下さい。
- 4 衣服・携行品他が搬器に引っかからない様に、特に注意して下さい。
- 5 改札時には、係員の指示に従って下さい。
- 6 コース外滑走は、絶対にしないで下さい。

※スキー場には、索道事業運送約款及び、スキー場利用約款、並びにグレンデ六法等が掲示されております。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

■連絡先

加森観光株式会社 テイネ事業部

サッポロテイネ

Tel : 011-681-3191

Fax : 011-682-8942

e-mail : info@sapporo-teine.com